

解答と解説

p.1 ステージ 1

- 例題**
- ① $ab < 0$
 - ② $a < 0, b > 0$
 - ③ 反例
 - ④ 正しくない
 - ⑤ 面積が等しい
 - ⑥ 合同
 - ⑦ 反例
 - ⑧ 正しくない

- 1**
- (1) ある四角形がひし形ならば、その四角形の4つの辺はすべて等しい。…正しい。
 - (2) ある数 x について、 $x > 9$ ならば、 $x \geq 10$ である。…正しくない。
(反例は $x = 9.5$ など)

解説

- 1** (2) x が整数とは限らない。

p.2 ステージ 1

- 例題**
- ① 81
 - ② 70
 - ③ 91
 - ④ 91
 - ⑤ 70
 - ⑥ 21

- 1**
- (1) A組：第1四分位数…19冊
第2四分位数…39冊
第3四分位数…56冊
B組：第1四分位数…25.5冊
第2四分位数…35冊
第3四分位数…50冊
 - (2) A組…37冊 B組…24.5冊

解説

- 1** (1) A組のデータの個数は10個だから、
第2四分位数は、 $\frac{36+42}{2} = 39$ (冊)
↑
中央値は、5番目と6番目のデータの平均値。
3番目が第1四分位数だから19冊。
8番目が第3四分位数だから56冊。
B組のデータの個数は9個だから、
第2四分位数は35冊。←中央値は5番目。
第1四分位数は、 $\frac{22+29}{2} = 25.5$ (冊)
↑
2番目と3番目のデータの平均値。
第3四分位数は、 $\frac{48+52}{2} = 50$ (冊)
↑
7番目と8番目のデータの平均値。

- (2) (四分位範囲) = (第3四分位数) - (第1四分位数)
だから、

A組は、 $56 - 19 = 37$ (冊)
↑
(第3四分位数) - (第1四分位数)

B組は、 $50 - 25.5 = 24.5$ (冊)

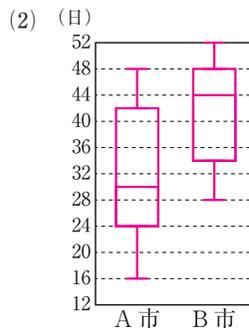
ポイント!

大きさの順に並べた資料を、個数が同じになるように半分に分ける。ただし、度数の合計が奇数のときは、中央値を除いて2つに分ける。

p.3 ステージ 1

- 例題**
- ① 英語
 - ② 72
 - ③ 84
 - ④ 80
 - ⑤ 数学

- 1** (1) A市：第1四分位数…24日
第2四分位数…30日
第3四分位数…42日
B市：第1四分位数…34日
第2四分位数…44日
第3四分位数…48日



解説

- 1** (1) A市のデータの個数は7個だから、
第2四分位数は30日。←中央値は4番目。
2番目が第1四分位数だから24日。
6番目が第3四分位数だから42日。
B市のデータの個数も7個だから、
第2四分位数は44日。
2番目が第1四分位数だから34日。
6番目が第3四分位数だから48日。
(2) それぞれの値を次のように対応させて、箱ひげ図をかく。

